

報 告 3 平成 29 年度

公益社団法人牛久市シルバー人材センター事業活動報告

1. 総括

平成 29 年度の国内経済は、国際情勢や政局が大きく揺れ動く中で、物価の上昇基調の弱さや、一人あたりの賃金の伸び悩みなど、一部には改善の余地が残るものの、景気拡張期間は「いざなぎ景気」を上回る戦後 2 位に達するなど、今のところは順調に推移しております。しかしこれとともに一方では「働き方改革」の推進も、急務となってきました。これは「1 億総活躍社会の実現に向けた国の最大のチャレンジ」で、日本の人口、特に労働力人口が継続して減少していることに起因しています。超高齢社会を迎え、逼迫した労働力減少を支えるため、厚生労働省は高年齢者等雇用及び就業対策の柱として、定年の引き上げ等による雇用の確保、中高年齢者の再就職の促進、多様な就業・社会参加の促進、などを進めています。必然的にシルバー人材センターとしても、このような状況においては、低減する会員への対策、有効かつ適正な就業環境の整備を図ることが急務となってきました。センターは新入会員の獲得を積極的に進めるとともに、限られた会員の中で、組織の効率化を図り、事務局体制の見直し、理事会活動の活性化、また書類・規定類の整備を行い、さらに各会員がその能力と希望に応じ、バランスの取れた就業機会が得られるよう、適正就業に対する精一杯の配慮を行っております。

その結果、当期収入合計金額は 222,406 千円、支出合計金額は 224,431 千円と収支均衡を保つ相応の成果を挙げることが出来たのは当シルバーセンターに係る会員・職員・役員すべての努力の結集の結果であります。牛久市常住者人口は 85,247 人、高齢者人口 65 才以上は 23,381 人となり高齢化率は 27.43% (H30-2/1 日現在) と、高齢者を支える医療と介護の連携及び社会福祉体制がますます重要な課題となつてきています。シルバー人材センターは、新たな高齢者の就業ニーズに適切に応えられるよう事業のあり方を見直し、これまで蓄積したノウハウを有効に活用して、さらに追加的収入を得るため、派遣事業等、雇用を含めた幅広い就業機会の確保・提供に携わってまいりました。

次に、活動の成果を具体的な数値を持って報告いたします。
 更に新公益法人下での新しい活動報告形式として、以下事業活動ごとに分類した内容で報告を致します。

項目	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績	増減率(%)
1.受注件数	2,402 件	2,401 件	△0.04
2.契約金額	196,518,744 円	197,457,644 円	0.48
3.配分金額	160,293,449 円	160,390,893 円	0.06
4.事務費収入	15,451,185 円	16,740,515 円	8.34
5.派遣会員契約額	18,692,063 円	20,842,447 円	11.50
6.派遣手数料	1,485,921 円	1,793,868 円	20.72
7.登録会員数	481(男 396 女 85) 人	468(男 386 女 82) 人	△2.70
8.会員入会数	38(男 31 女 7) 人	49(男 41 女 8) 人	28.94
9.会員退会数	54(男 41 女 13) 人	62(男 51 女 11) 人	14.81
10.就業実人員	420 人	420 人	0
11.就業延人員	42,302 人日	41,320 人日	△2.32
12.就業率	87.3 %	89.7 %	2.75

2. 事業区分活動報告

<p>公 1-1 就業開拓提供事業</p>	<p>センターが受注した、発注者から仕事の申し込みの受け付けは 2,401 件でした。仕事内容の確認や会員の就業履歴、希望日程を調整しながら就業機会を会員に提供し、うち 420 人が就業しています。臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務への就業への報酬として、受託先から受け取った金額は総計 197,458 千円、内訳は、配分金 160,391 千円材料費 20,326 千円事務費 16,741 千円です。その請求や配分金の計算、支払いなど付随する事務処理は事務局が滞りなく着実に実行しており、会員に対して就業機会をできるだけ多く提供するため、牛久シルバー人材センターでは、就業開拓創出員、事務局職員や理事等により、既存取引先及び牛久市行政機関等を訪問し、受注のための活動を実施しています。事業委・広報員会においても従来行ってきた会員募集及び「お仕事案内」「家庭での仕事をお手伝い」のチラシを駅まで配布したり、各種広報紙にご案内文を掲載したりしています。また日刊の新聞紙に会員募集チラシを折り込み配布したり、地域の集会所や公共機関への配布も行っています。さらに就業拡大を増進させ、新たな就業形態の要望に幅広く対応するため、適正就業の促進に努めています。また社会福祉協議会との協同の下に、介護予防、日常生活総合支援事業、家庭お手伝い事業等の新規分野への参画も推進しています。独自事業としては福祉センター売店、クリ</p>
---	---

	<p>ーンセンター内サトル工房の収益改善につとめ、パソコン指導教室の事業も含め独自事業全体として 13,382 千円の実績を上げました。</p>
<p>公 1-2 調査研究事業</p>	<p>お客様からのクレーム、会員の就業状態を把握・分析することにより、就業機会の増加対策や就業の質の向上、需給のミスマッチの解消、就業環境の改善等の促進に取り組んでいます。昨今のインターネット情報社会においては、クレーム対応適否が即座に企業・団体イメージを決定づける重要な要素となっていることから「クレーム対応と防止対策」のマニュアルを作成し、会員に認識を徹底させるため新入会員用テキストにダイジェスト版を盛り込み、その実行に取り組んできました。また「会員手引き」の改訂、新入会員用テキストの作成、安全就業マニュアルの作成等により就業する会員の作業活動の質の向上を諮っています。新公益法人におけるガバナンスの向上をめざし理事会活動を活発化、一層充実させるため、会員の手引き、財務規程、職務規定、配分金規約等、全 33 規程の見直しを、現状調査・検討の上、完成させました。新公益法人下での事業活動においてより良い情報公開の実施手段の一環として新規ホームページの在り方を調査研究し、その充実を目指し、改良に取り組んでいます。29 年度は特に「センターからのお知らせ」欄の充実を図り閲覧者の皆様に現状のシルバーセンターの動きがわかるようニュースをお伝えしてきました。さらに高齢者世帯向けのお手伝い事業にも力をいれ、この結果を含め社会福祉協議会、市、保健福祉部・高齢福祉課等の意見などを参考に新市場開拓実現の可能性について研究を進めています。</p>
<p>公 1-3 相談事業</p>	<p>入会を希望する高齢者のために、シルバー人材センターを開放し、センターの業務や仕組みについての就業相談にあたってきました。また入会を希望する高齢者には入会にあたっての諸手続きの手順等入会案内説明するとともに、高齢者本人の希望、経歴、適性等を見極めていきます。入会後の新入会員に対してはシルバー人材センターの概要、活動主旨、等就業に当たっての心構えを説明するオリエンテーションを計画し、会の開催にあたっては、理事及び事務局員等が交代で説明・相談に対応することとし、毎月 1 回の入会説明会を定期的に行い、疑問点にはできる限りの説明を行い、就業に当たって会員がスムーズに作業できるように環境を整えてきました。</p>

<p>公 1-4 研修講習事業</p>	<p>新入会員がシルバー人材センターの基本理念や仕組み、就業規則などの研修（新入会員刈エーション）を受けることにより会員として就業した際の基本的な心構えを作り、既存会員には新公益法人下でのシルバー人材の在り方を研修することにより現在の就業意識をさらに深め注文元に対する信頼を高めるよう努めています。役員においては茨城県シルバー人材センター連合会主催の役員講習会の参加へ積極的に活動してきました。安全就業推進の為、自転車講習会、自動車講習会などの研修会を開催し、安全就業の周知徹底に努めています。高齢者の技能向上への取り組みを支援するため、剪定作業に対する心構えの再教育、刈り払い機やチェーンソーの使い方のテーマを研修への参加を積極的に支援するなど、技術面、安全面での向上を促進し、就業状況の安定性、就業機会の確保を目指してきました。</p>
<p>公 1-5 普及啓発事業</p>	<p>広報委員会においては、リーフレット、タウン情報誌、牛久市シルバー人材センター・ホームページ、機関誌「うしくシルバーだより」、市報「広報 うしく」等を通し、会員募集や就業機会拡大のためのPRを行うとともに、29年度は特に新聞の朝刊に折込チラシを依頼してPR実施し成果を上げました。また地元諸団体と連携して、地域イベントの参加、ボランティア、チャリティ活動等シルバー人材センターの活動状況、存在価値をPRしています。これにより市民へは高齢者の生きがいづくりに、相応しいセンターとしての存在価値を意識づけ、入会動機を高めるとともに、市民、企業、公共機関にはセンターへは仕事の発注依頼をPRし、高齢者による社会参加の機会増加の促進に努めています。牛久市議会への働きかけを密にし、議会でシルバー人材センターの存在意義をPRして頂きました。又理事全員が手分けして駅前では会員募集のチラシを配布し、新規会員の確保に努めました。30年度は牛久シルバー人材センター設立20周年にあたるため、記念行事への取り組みとして、30年4月1日付で20周年記念特集号を発刊いたしました。</p>
<p>公 1-6 安全就業推進事業</p>	<p>高齢者が就業するにあたっては、能力と体力に見合った仕事を安全にできるようにすることが最重要課題です。このため、事務局員は就業人員を配置するに際して仕事内容の確認や会員の入会申込書、就業履歴等を参考にし、希望日程を調整しながら就業機会を会員に提供し、安全就業の適正を図っています。安全委員会においては 全会員に機関誌「シルバーだより・うしく」を通し安全ニュースを掲載し、全会員に配付し、安全への意識の醸成を図っています。また安全委員会では安全パトロールを年4回、実施し、安全委員全員で作業現場における事故防止のための推進活動に取り組んでいます。このため、当シルバー人材センターにおいては事故率も少なく、全国シルバー人材センター事業協会から安全優良賞を授与されております。また解り易く、簡潔な安全・適性就業の指導マニュアル作成し、作業員及び安全委員が作業に取りくむ際のチェック指導書を作制中です。就業にあたって、健康面でのチェックを行い安全を確保するために、牛久市</p>

の市民健康診断を定期的に受診するよう進めるとともに、必要に応じてその診断結果の写しを提出してもらい、作業時の注意事項に反映させ、安全確保と健康寿命の伸長に協力してきました。

3. 専門委員会活動報告

総務委員会

1. 公益法人として組織の定着化

(1) 公益社団法人に適合した諸規定の整備

- ① 既存諸規程の見直し整備を図り、当センター全諸規程の総合的見直し整備は完了した。

2. 会員研修の質的向上と拡充

(1) 会員のでびきの更新

- ① 会員用の「会員の手引き」の見直し整備を継続して進めています。

(2) 会員テキストの適時見直し及び研修の拡充

- ① 研修用テキスト及び同パワーポイントの見直し更新をはかりました。
- ② 新入会員研修は毎月実施し、延べ45名の会員が受講しました。

3. 地域社会に貢献する活動の推進

(1) 地域の美化活動と公共施設の保全支援活動

- ① 市役所から牛久駅周辺及びひたち野うしく駅周辺の街路清掃ボランティアを毎月実施し、延べ152名の会員が参加されました。
- ② 公共施設「牛久市こども支援センター」除草及び植木の剪定作業を実施し23名の会員が参加しました。

4. 会員の健康寿命の伸長と生きがいのづくりの推進

(1) 牛久市が実施する特定健診の受診の勧め

- ① 健康診断の受診を勧めるため、市特定検診パンフレットを会員へ配布しました。
- ② 健康診断の更なる受診を勧めるため、検診案内のチラシを作成し会員へ配布しました。

(2) 会員の健康と生きがいのづくりの推進

- ① 会員のさらなる親睦と交流を図るため、「暑気払い」を実施しました。

安全委員会

1. 安全パトロールを実施

(1)安全委員会は29年度4回(7月・10月・12月・30/3月)場所は、小売店3店舗、除草3現場、剪定10現場、ゴルフ練習場1、草刈り2現場、その他7の現場計26現場を安全パトロールをしました。

2. 7月「安全・適正就業強化月間」を実施

(2)期間中の取り組み

- ①安全第一のバッチを就業会員(福祉センター内作業・車の運転手他)に着用をお願いしました。
- ②安全パトロール(7/12日)(剪定2現場・機械刈り除草1現場・草取り1現場クリーンセンター内3ヶ所)を実施しました。

3. 茨城県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進大会に出席

(1)7/7(金)県シ連主催の安全・適正就業推進大会に4名出席しました。
茨城県シルバー人材センター連合会の安全標語募集において中島理事が「優良賞」で表彰されました。

4. 自転車交通安全講習会を実施

(1)30年3月15日、自転車交通安全講習会を総合福祉センターで(14名参加)実施しました。

5. 安全標語を募集し、参加会員の作品をシルバーだよりに掲載

(1)6月全会員に対して、安全標語募集の書面をポスティングしました。
27名の会員から49作品応募があり、シルバーだよりに掲載しました。

事業委員会

1.会員の質的・量的増強

- (1)会員募集チラシを市役所・各生涯学習センター(中央・三日月橋・カッパの里・奥野)エスカード事務所に配備した。
- (2)牛久市広報誌に会員募集記事を掲載し、市民全世帯に配布した(6/1.10/1.の各号)。
- (3)会員募集チラシを牛久駅東・西出口、ひたち野うしく駅東・西出口にて、午前6時より700部を配布した(10月20日(木))。

(4) 会員募集チラシを読売新聞に折り込みチラシとして配布した。

12、1、2、3月の各月に分散して12、300枚を牛久市全域に配布した。

2. 事業の創出

(1) 家庭でのお手伝い事業の拡充

牛久市広報誌に掲載し全世帯に配布した(6/1、10/1、の各号)。

(2) お手伝い事業募集チラシを市役所、各生涯学習センター(中央・三日月橋・カッパの里・奥野)に配備した。

3. 独自事業の拡充

(1) パソコン教室の拡充

牛久市広報誌に掲載し募集者を募った。

(3/1.7/1.9/1.12/1.の各号)

(2) リサイクル工房の拡充

牛久市広報誌に掲載拡充を図る

(3) カップ箸制作を実施し、延べ49名の参加者があった。

(4/7.7/28.9/15.10/6.11/17)

4. 新しい仕事への取り組みの情報収集

広報委員会

1. 「シルバーだより」の発行

65～68号まで4回発行した。そのうち67号はシルバー人材センターの紹介と会員募集に重点をおいて編集し、市内の全世帯に回覧した。

2. 設立20周年記念特集号の発行

「シルバーだより」の68号を20周年記念特集号として12頁ものにまとめ発行し会員及び関係各位に配布した。

3. ホームページの更新

随時ホームページの見直しを行い、シルバー人材センターの新しい活動状況などを「センターからのお知らせ」欄などを通して発信した。

4. キャラバン隊説明ビデオを制作

シルバー人材センターの活動状況をお知らせするとともに会員募集のPRを兼ねた映像をパワーポイントで制作中